

がんばる羽咋創生総合戦略

事前審査結果及び重点審査する施策
全5施策

事前審査結果及び重点審査する施策

1. 審査結果

			事前審査結果
1	◎	取り組み内容の深化・発展	23
2	○	取組内容の継続	40
3	△	取組内容の見直し	18
4	×	取組の中止・終了	0
計			81

2. 重点審査する施策一覧

No.	施策NO.	基本目標	基本的施策名	重要業績評価指標(KPI)	担当課	総合評価 (案)
1	12	基本目標Ⅰ	3-(2) 大学生と市内企業とのつながりを強化	①課題解決型インターンシップ受入人数	企画財政課	◎
2	20	基本目標Ⅱ	1-(2) 千里浜IC周辺の賑わいづくり	①道の駅のと千里浜のレジ通過者数	商工観光課	△
3	46	基本目標Ⅲ	4-(2) グローバル社会に対応した英語教育の推進	①中学3年生の英検3級以上取得率	学校教育課	◎
4	63	基本目標Ⅳ	4-(1) JR羽咋駅周辺の整備	①旧マルシェ跡地の整備完了(R6年度まで)	都市づくり推進室	◎
5	71-1	基本目標Ⅴ	1-(3) 住民主体の支えあいのまちづくりを推進	①生活支援協議体の設置数	地域包括ケア推進室	○

第2期 羽咋創生事業 進捗管理シート

評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

1	I 魅力あるしごとを創出	
	3 学生の就職と地元企業の雇用におけるマッチングを強化	担当課
	(2) 大学生と市内企業とのつながりを強化	企画財政課

有識者会議による検証評価

重要業績評価指標 (KPI)	最終目標値 令和6年度	基準値 令和元年度			
①課題解決型インターンシップ受入人数	6人	1人			
目標値	2人	3人	4人	5人	6人
実績値	2人	-	-	-	-
事業費予算額	1,320千円	1,320千円	0千円	0千円	0千円
事業費決算額	450千円	0千円	0千円	0千円	0千円
年度目標に対する達成率	100.0%	-	-	-	-
最終目標値に対する達成率	33.3%	-	-	-	-
担当課評価	◎				
①PLAN 取組内容	都市部の学生等と市内企業とのマッチングによる課題解決型インターンシップの実施				
②DO 事業 スケジュール 課題など (具体例: いつ、誰が、 どこで、何を...)	課題解決型インターンシップの受入状況は昨年度1人という結果であり、学生と受入企業とのマッチングが課題となっている。今年度は、新型コロナウイルスの影響から事業そのものが実施できるか不透明であるため、例えばオンラインによるインターンシップなど、新たなスタイルによる事業実施ができないか検討したい。 また、新型コロナウイルスが早期に収束して、今年度に事業が実施できる場合も想定し、学生と受入先企業の確保などの事前準備を進めるとともに、企業へ制度のメリットを周知していきたい。				
③最終CHECK 3月時点	1/6～3/24の期間、(株)神子の里で国際教養大(秋田市)のインターンシップ生2名を受入。インターンシップ生が主体的に神子原地区住民の生活実態やニーズ調査を行った。今後、(株)神子の里でスタートする移動販売車を活用した宅配サービスや高齢者の見守り支援については、その分析結果を取り入れ、地域に沿った事業としての確立を目指す。さらに、(株)神子の里の経営のあり方やSNSを活用した効果的な情報発信についても、インターンシップ生がスタッフとともにミーティングを重ね、その改善策について共有を図り、(株)神子の里の運営改善につなげている。				
④ACTION 対応方向	令和3年度も、インターンシップ生と市内企業とのマッチングを図り、積極的な受入につなげる予定。また、令和3年度夏頃を目途に、(株)神子の里のインターンシップ生の取り組みに係る報告会を開催し、地域づくりの好事例としての波及を図り、他地域についても新たなまちづくりを促す。				

評価	総数	意見
◎	14	①インターンシップ生からの意見を取り入れるのは良い。違う角度からの目線も大事。 ②短期のインターンシップがどこまで効果的なのかはやや疑問。地域創生を目的にした産業連携に発展させてはどうか。 ③少しずつでも継続してほしい。 ④国際教養大のインターンシップ生を受け入れたことは大変有意義。コロナのことがなければ、大学生の話を小・中学生にも聞かせたかった。校区で実施されていることにもっと興味をもたせることで、将来の仕事につながるのではないかと。 ⑤インターンシップの質向上のためにも、報告会を開催し、好事例としての波及を図るなど実績のアウトプットは大事。今年度の取組に期待。 ⑥なぜ秋田なのか。他県からの視点も大事だが、金沢市在住の県外学生でもいいのでは。
○	5	①神子の里での好事例の横展開・深化が必要。 ②大手企業(NTN・立山合金等)とのタイアップを図り、補助金等の取り組みを。 ③一度都会に就職した人でも、このコロナ禍でUターンを考えている人がいると思う。大学生も就職の選択肢に地元が入ってくるのではないかと。
△	1	①特定のコンサルに丸投げの姿勢を見直した方がよい。目的自体は意義があるので、複数の委託先を導入してはどうか。
×	0	

第2期 羽咋創生事業 進捗管理シート

評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

2	II 羽咋への新たなひとの流れを創出	
	1 羽咋の自然・歴史・文化の活用とスポーツを通じた魅力発信	担当課
	(2) 千里浜IC周辺の賑わいづくり	商工観光課

有識者会議による検証評価

重要業績評価指標 (KPI)	最終目標値 令和6年度	基準値 令和元年度			
①道の駅のと千里浜のレジ通過者数	30万人	26.7万人			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	25万人	27.5万人	28.5万人	29万人	30万人
実績値	18万人	-	-	-	-
事業費予算額	47,544千円	3,831千円	0千円	0千円	0千円
事業費決算額	47,544千円	0千円	0千円	0千円	0千円
年度目標に対する達成率	72.0%	-	-	-	-
最終目標値に対する達成率	60.0%	-	-	-	-
担当課評価	△				
①PLAN 取組内容	①地域経済への貢献を意識しながら、軒下販売・外商・ネット販売・ふるさと納税など店舗外販売の促進。 ②地元の物を活用した商品開発の継続。 ③市の玄関口である千里浜IC周辺の総合的な整備の促進(駐車場の拡充整備など)				
②DO 事業 スケジュール 課題など (具体例: いつ、誰が、 どこで、何を…)	①市内事業者と連携しながら、集客及び収益の確保。(ドライブスルー弁当販売など)4月～ ②はくい地域産業センターの研究加工施設を活用。生産量増加・作業効率の向上を図り、利益率が高い高品質の新商品開発。5月～ ③駐車場の拡充整備。4月～				
③最終CHECK 3月時点	①11月からGOTOトラベル及び羽咋市宿泊キャンペーンに併せ道の駅オリジナル商品セットを販売。市内宿泊者の誘客もあり、11月は過去最高の売上となった。 ②はくい地域産業センターを活用した「能登紅はるか関連商品」の生産量が増加。店舗での道の駅オリジナル商品の陳列量を増やすことで魅力ある売場を構築できた。 ③7月に延期となった周年祭を例年開催している「新米まつり」と共催(11/28・29)。2日間レジ通過者:約2,000人 ④香林坊大和にて7日間催事出店(12/9～15)。近郊都市部で羽咋製品のPRを行った。				
④ACTION 対応方向	①軒下販売・外商・ふるさと納税・ネット販売など店舗外販売を促進することで地元産品の露出を増やす。全国に羽咋市ファンを獲得し、観光・旅行などの訪問先としていただくことを目指す。 ②ゆ華・ユーフォリア・レストハウスなど千里浜温泉郷周辺施設及び市内施設との連携を強化し一体となった誘客を行う。				

評価	総数	意見
◎	1	①コロナ禍の中、前向きに工夫して誘客を行っていてとても良い。
○	8	①強みを活かし、人が集まる所を強化すべき。 ②道の駅を中心として、さらにオリジナル商品の開発に取り組んでほしい。市内和菓子店と洋菓子店のコラボ商品が絶妙だった。 ③地元の物を活用した商品開発がさらに必要。以前、「はねくう羽咋」というお菓子が発売された時、県外の友人に渡した。「はねくう羽咋」の発想は良いと思ったが、その後再び送り続けたいものにはならなかったように思える。 ④羽咋市の玄関口であり、なおかつ観光拠点施設の為、常にニーズを踏まえた議論が必要。
△	11	①コロナ後を見据えた、周辺施設との連携強化に期待。 ②地元市民が利用活発となる仕組みも大事。 ③施策8と統合できる。独立採算、民営化による利潤追求と従業員の増加を図ってほしい。 ④民間活力の積極的な活用として、千里浜レストハウスとも連携をはかるべき。
×	0	

第2期 羽咋創生事業 進捗管理シート

評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

3	Ⅲ 若者の生活、子育てを切れ目なく支援	
	4 新時代に活躍できる人材を育てる教育を推進	担当課
	(2) グローバル社会に対応した英語教育の推進	学校教育課

有識者会議による検証評価

重要業績評価指標 (KPI)	最終目標値 令和6年度	基準値 令和元年度
① 中学3年生の英検3級以上取得率	70.0%	40.7%

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	45.0%	55.0%	60.0%	65.0%	70.0%
実績値	55.9%	-	-	-	-
事業費予算額	1,920千円	1,920千円	0千円	0千円	0千円
事業費決算額	747千円	0千円	0千円	0千円	0千円
年度目標に対する達成率	124.2%	-	-	-	-
最終目標値に対する達成率	79.9%	-	-	-	-
担当者評価	◎				

評価	総数	意見
◎	12	①子供の英語能力が上がっている。 ②高水準の英語教育が行われており感心する。 ③学力向上は、心豊かな子供を育む目的。
○	8	①英語が得意な子を更に伸ばす取り組みが中心ですが、英語が苦手な子も英語が好きになるような取り組み(全体的な底上げ)も更に強化しても良いのではないかと。 ②取得率も必要かもしれないが、不得手者の対策も必要。
△	0	
×	0	

① PLAN 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手(ALT)を配置し、全小中学校と連携した外国語教育の推進 小学生や中学生の英検受験費用を助成 中学生のアメリカ派遣研修の実施 国立能登青少年交流の家と連携した英語教育の実施
② DO 事業スケジュール課題など (具体例: いつ、誰が、どこで、何を...)	<ul style="list-style-type: none"> ①外国語指導助手を(ALT)を配置し、引き続き小学校からの外国語教育の充実、能力アップを図る。 ②英語検定料奨励費支給制度については、中学生には、年2回までの受験料の2分の1を補助し、英検Jr及び英検5級を受験する小学生には、年1回の受験料の2分の1を補助し、英語に親しむ環境づくり、継続して英検に取り組み、国際的に活躍できる人材育成を目指す。 ③令和2年度から中学生を対象とした海外派遣交流事業を実施する。(8月実施は延期) ④新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、国立能登青少年交流の家と連携して、市内全小学校の中・高学年を対象とした、イングリッシュキャンプを実施する。
③ 最終CHECK 3月時点	<ul style="list-style-type: none"> ・2級3人、準2級12人、3級70人取得(中3生徒数152人) ・外国語指導助手(ALT)4名を全小中学校に配置。 ・英検受験費用の1/2を助成。(中学生は年2回まで小学生は年1回分を助成) ・中学生のアメリカ派遣研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・国立能登青少年交流の家と連携して、9月にイングリッシュキャンプを全小学校が実施。
④ ACTION 対応方向	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中学生のアメリカ派遣研修は中止となったが、その他の取組み項目は概ね計画どおり遂行できた。 次年度以降も継続的に実施し、英検取得率の向上を目指していく。

第2期 羽咋創生事業 進捗管理シート

評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

4	IV 安全・安心・快適な環境の整備	
	4 都市機能の集積化と再編	担当課
	(1)JR羽咋駅周辺の整備	都市づくり推進室

有識者会議による検証評価

重要業績評価指標(KPI)	最終目標値 令和6年度	基準値 令和元年度
①旧マルシェ跡地の整備完了(R6年度まで)	整備完了	-

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	-	-	-	-	整備完了
実績値	-	-	-	-	-
事業費予算額	379,000千円	720,970千円	0千円	0千円	0千円
事業費決算額	336,822千円	0千円	0千円	0千円	0千円
年度目標に対する達成率	-	-	-	-	-
最終目標値に対する達成率	-	-	-	-	-
担当課評価	◎				

①PLAN 取組内容	①旧マルシェ跡地の整備 ②都市計画道路川原町線の整備 ③二級河川長者川の整備 ④市道羽咋101号線の拡幅整備 ⑤整備のための財源を確保するため、都市再生整備計画を策定
②DO 事業 スケジュール 課題など (具体例: いつ、誰が、 どこで、何を...)	①7月以降に旧マルシェの解体工事に着手するとともに、上半期中に第2回サウンディング型市場調査を実施し、事業手法を決定する。 ②5月中に街路基本設計に着手し、沿道利用も含め、地元町会及び地権者と協議する。 ③事業主体である石川県と連携し、整備に向けた協議を行う。 ④4月から線形を検討し、用地の先行取得のため地権者との交渉及び補償算定・用地鑑定を行う。 ⑤都市再生整備計画(R3年度からの5ヶ年計画)を策定し、国交省へ交付金要望(6月、11月)
③最終CHECK 3月時点	①1月に事業手法(交流機能DO方式、商業機能PRE方式で一括して公募する方式)を決定。決定した事業手法を基に、2月に契約支援業務委託を締結し、来年度実施する公募に係る資料の作成を進めている。また、3月に旧マルシェの解体工事が完了。 ②3月に街路の基本設計が完了し、事業認可を取得。 ③県と協議を進め、線形が確定。 ④用地の先行取得のため地権者との交渉を進めている。 ⑤国へ1月に交付金の本要望をし、3月に都市再整備計画を提出した。
④ACTION 対応方向	①事業者の公募、選定を行い、実施設計や造成工事に着手する。 ②R3年4月に実施設計、用地確定測量、補償算定及び不動産鑑定に着手し、補償金額が確定した箇所より順次用地交渉を行い、土地開発基金による先行取得を実施。先行取得後、R3年度中に基金から用地の買戻しを行う。 ③R3年度中に事業主体である石川県が実施する長者川左岸側の整備(八幡橋上流の旧国道415号までの区間)及び今後の継続的な事業実施に向けた協議を行う。 ④引き続き用地買収を行うとともに、基金から用地の買戻しを実施する。また、既存家屋7棟の解体工事に加え、測量、土質調査、道路設計及び橋梁設計業務に着手し、設計終了後、交流拠点施設の造成と一体的に道路工事(長者川から旧国道415号側まで)を実施する。

評価	総数	意見
◎	16	①駅前が街の顔になるので、若い子が楽しめるような環境を目指してほしい。 ②駅前のにぎわいを。 ③羽咋駅周辺のにぎわいにつながる事業。注目大きい。
○	4	①旧マルシェ跡地がどんな形になるのか、全体像がみえない。地元企業の商業施設をつくる予定なのか。
△	0	
×	0	

第2期 羽咋創生事業 進捗管理シート

評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

5	V 人口減少時代に対応した持続可能なまちづくり	
	1 誰もが生涯活躍できるまちの構築	担当課
	(3) 住民主体の支えあいのまちづくりを推進	地域包括ケア推進室

有識者会議による検証評価

重要業績評価指標 (KPI)	最終目標値 令和6年度	基準値 令和元年度
①生活支援協議体の設置数	11箇所	3箇所
実績値	実績値	実績値
令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和5年度	令和6年度	
目標値	6箇所	8箇所
実績値	5箇所	-
事業費予算額	9,056千円	6,356千円
事業費決算額	5,133千円	0千円
年度目標に対する達成率	83.3%	-
最終目標値に対する達成率	45.5%	-
担当者評価	○	
①PLAN 取組内容	市民が主体的に、身近な地域の課題を解決するための取り組みや担い手の掘り起こしなどを行うための地区毎の検討組織である第2層生活支援協議体の立ち上げと活動支援を行う。 ※目標値には生活支援協議体の設置数を記入。	
②DO 事業 スケジュール 課題など (具体例: いつ、誰が、 どこで、何を…)	①生活課題の抽出や、必要な活動及び必要な人財の掘り起こしを、市民や地域の様々な主体と連携し全市的な課題、地区特性の課題解決策の創出を行う。 ②既設の第2層生活支援協議体(一ノ宮地区、柴垣町、千里浜地区)に対する活動支援を継続する。 ③「支えあいを考える懇談会」実施後の滝谷町、鹿島路・越路野・神子原地区に対し、第2層生活支援協議体設立に向けた支援を行う。 ④設立後の第2層生活支援協議体に対する、活動支援を行う。 ⑤住民主体の通いの場や個別支援活動運営支援、介護予防サポーター等派遣調整と連動して支援する。 ⑥生活支援協議体の設置や運営支援コーディネート、介護予防サポーター養成を羽咋市社会福祉協議会に委託し、地域活動と連動した支援体制で行う。	
③最終CHECK 3月時点	R1年度から社会福祉協議会に第1層、第2層生活支援コーディネーターを委託。市は社会福祉協議会の後方支援として定例会に参加するとともに、コーディネーターと地域課題の整理や助言を行っている。 ①5地区(一ノ宮地区、柴垣町、千里浜地区、鹿島路地区、越路野地区)の定例会に参加。 ②第2層生活支援協議体から新たに3か所(千路町、滝町、一ノ宮町)の通いの場が創出。 送迎を含めた訪問型サービスに関しては検討中。 ③2月17日の移送サービスの勉強会に50人参加。 ④住民主体の通いの場の連絡会を3回実施。 ⑤介護予防サポーター養成講座を8月に予定するも、コロナ禍により、参加申込者少数につき延期。2月25日に12名を対象に実施。 ⑥サポーター登録 新規:5名 累計126名 ⑦住民主体の通いの場が新たに4か所(千路町、滝町、堀替新町、一ノ宮町)開設。 ⑧6月、男性限定の筋力トレーニング教室が新たに1か所開設。 ⑨2月10日に神子の里と生活支援活動に関する意見交換を実施。	
④ACTION 対応方向	今後も住民主体の支えあいのまちづくりを推進するため、社会福祉協議会と協働し、第2層生活支援協議体の立ち上げと活動支援を行う。	

評価	総数	意見
◎	0	
○	20	①人材の育成を。 ②高齢化社会に対応、共助すべき。
△	0	
×	0	